校長室だより

2025年6月17日
丹波市立進修小学校
校長　松田　亜矢

みんなが楽しく 笑顔になる学校にするために

いじめの未然防止と早期対応

子どもたちが毎日安心して過ごし、自分らしく成長していくために、学校として特に大切にしているのが「いじめの未然防止と早期対応」です。

いじめは、どんな理由があっても決して許されるものではありません。からかい、無視、仲間はずれなど、子どもたちの中では軽い気持ちで行ったことが、相手に深い心の傷を与えてしまうこともあります。

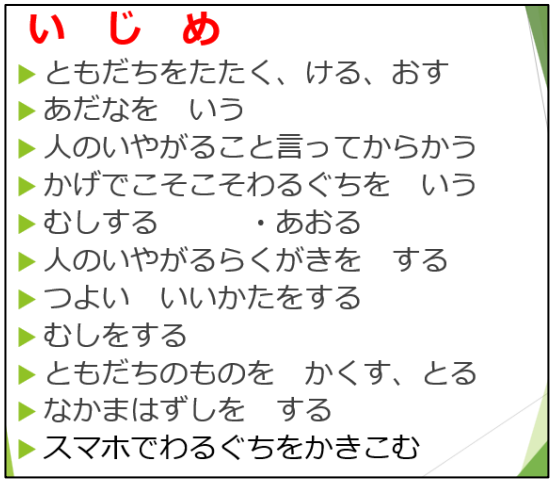
本校では現在、以下のような取り組みを行っています。

- 子どもたちに人とのつながり力をつける（相手の気持ちを考える）、多様性の尊重（違いを認め合う大切さ）
- 学期に1回のアンケートや個別面談を通じた、子どもたちの心の変化の把握
- 「困ったときは一人で抱え込まず、信頼できる大人に相談しよう」と伝える啓発活動

さらに、教師間の情報共有や、養護教諭・スクールカウンセラーとも連携し、いじめの早期発見・対応にも力を入れております。

6月に今年度1回目のいじめアンケートを取りました。そのアンケートをもとに、担任が子どもたち一人一人と面談をして、今困っていることや気になっていることはないかなどの話を聞いています。
子どもたちが相談しやすい先生にいつでも話せるように、また私たち教職員も子どもたちの変化に気づけるように日々取り組んでいます。

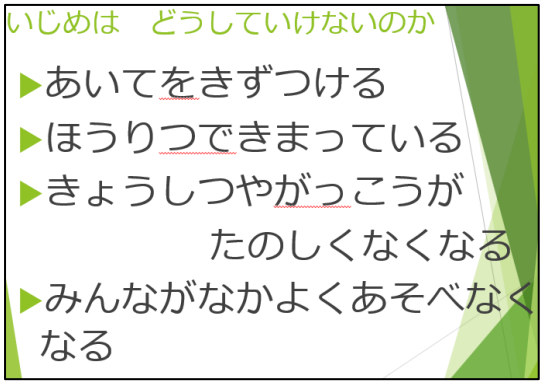
子どもたちに話をしたことを簡単にお伝えします。



まず、いじめってどういうことなのか、人によって捉え方は違うかもしれませんが、絶対に許されないこと、やってはいけないことです。

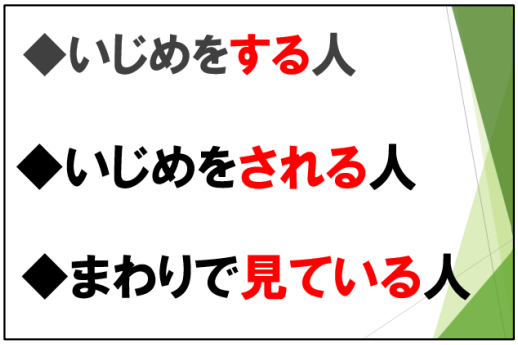
冗談だから、遊びやからと言ってしていることも相手にとってはつらいことかもしれません。また、本人が嫌がってないからということもありますが、周りで見ていると、とても嫌な気持ちになることもあります。

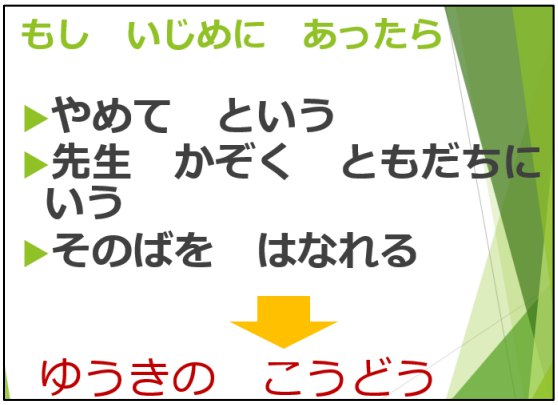
こういった行動をしないこと、なくなることが一番理想的なことです。



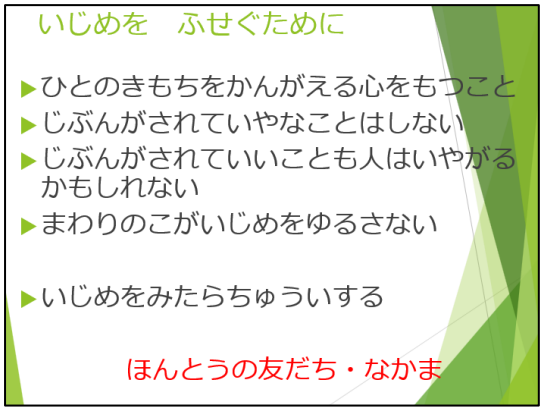
どうして、いじめはいけないのか。これは必ず理解してほしいです。傷ついて悲しい思いをする人が出てくるからです。悲しいつらい思いをすることで、学校が楽しくなくなり、学校に行けなくなることもあります。

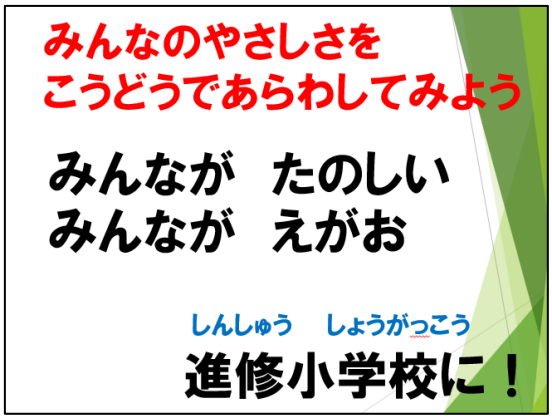
いじめは、次の3つの場合に分けられます。





いじめにあって苦しんでいる人は、なかなか行動にうつすことができないかもしれません。でも我慢しても解決することはありません。相手に「やめて」という勇気があれば言いましょう。でもそれはかなりしんどいことです。その場合は、先生やお家の人に相談しましょう。それは告げ口ではなく、優しさであり、勇気の行動です。





いじめをしないためには、自分の言葉遣いや態度を振り返ることです。そしていつも人の気持ちを考える心を持つことなど話をしました。頭ではわかっていても、なかなか行動にうつせないこともあります。でも、人は誰もが優しい心を持っています。みんなが楽しく笑顔で学校に行けるようにやさしい進修っ子になってほしいと願っています。

ご家庭でも、お子さんの表情や話し方、日々の様子に変化がないか、さりげなく見守っていただければ幸いです。

- 「何かあったら、いつでも話してね」と日頃から声をかけてあげてください。
- また、お子さんが誰かを傷つけてしまっていないか、ふり返る時間もとても大切です。

何かお気づきのことがあれば、学校に連絡をしてください。保護者の方と連携しながら一緒になって、すべての子どもたちの安心できる居場所であると感じられる学校づくりをめざしていきます。

今後ともどうぞ、ご協力ご支援をよろしくお願いします。

いじめを認知した場合の学校の体制については、ホームページ（いじめ防止基本方針）に掲載していますのでご覧ください。